

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	自己抗体を指標とした早期乳癌診断マーカーの検討
	研究目的	人の体の中には、自分自身の持っているタンパク質に対する抗体が作られている場合があります。このような抗体ができると、膠原病などの病気を発症することもあります。私たちは、このような抗体ががんの診断マーカーとして利用できるかどうかを研究しています。今回の課題では、がんセンターが同意を頂いて収集している患者さんの血清を使って、既に実施した乳がんの研究で見つかったマーカーを、乳がん以外のがんでも検討すると共に、新しい診断マーカーとして利用できるものも探索します。
	研究対象者	2006年1月1日～2019年8月31日までの期間に、当センターで治療を受けた、肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、卵巣がんの患者さんで、包括同意のもとに血液を研究用に提供して頂いた方
	研究期間	西暦 2019年10月2日～西暦 2021年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	肝胆膵内科、呼吸器内科、婦人科、消化器外科(大腸)、消化器外科(胃・食道)、病理診断科 臨床研究所・がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	愛媛大学プロテオサイエンスセンター・プロテオ創薬科学部門 研究責任者 竹田浩之(准教授)